

2023年12月期 第2四半期 決算補足説明資料

MediciNova, Inc.

(東証スタンダード：4875 / NASDAQ：MNOV)

2023年8月15日

1 2023年12月期 第2四半期 連結業績概要

2 研究開発プロジェクト 進捗ハイライト&補足説明

3 Appendix

1 2023年12月期 第2四半期 連結業績概要

2 研究開発プロジェクト 進捗ハイライト&補足説明

3 Appendix

（単位：米ドル）

※カッコ内単位：千円 / 2023年7月31日時点の仲値1ドル=140.97円で換算

	FY22/2Q (①)	FY23/2Q (②)	増減額 (②-①)	補足
営業収益	0 (0)	0 (0)	— (-)	
研究開発費・特許費	4,676,965 (659,311)	3,212,411 (452,853)	△ 1,464,554 (△ 206,458)	MN-166及びMN-221に係る製造費用が減少、一方でMN-001関連費用は増加
一般管理費	2,822,982 (397,955)	3,050,862 (430,080)	227,880 (32,124)	業績連動型ストック・オプション費用が増加
営業利益	△ 7,499,947 (△ 1,057,267)	△ 6,263,273 (△ 882,933)	1,236,674 (174,333)	
その他費用	△ 44,082 (△ 6,214)	△ 486,517 (△ 68,584)	△ 442,435 (△ 62,370)	預金の預入期間変更に伴う違約金を計上
受取利息	128,614 (18,130)	960,466 (135,396)	831,852 (117,266)	
当社株主に帰属する 当期純利益	△ 7,415,415 (△ 1,045,351)	△ 5,789,324 (△ 816,121)	1,626,091 (229,230)	

連結業績概要②／貸借対照表（要約）

	22／12月末	23／6月末	増減額
資産の部			
流動資産			
現金及び現金同等物	18,505,493	52,876,271	34,370,778
前払費用・その他流動資産	499,403	645,464	146,061
仕掛研究開発費	4,800,000	4,800,000	—
固定資産			
長期性預金	39,982,213	—	△ 39,982,213
のれん	9,600,240	9,600,240	—
有形固定資産	45,269	54,562	9,293
使用権資産	629,495	669,314	39,819
その他長期資産	92,792	72,791	△ 20,001
資産合計	74,154,905	68,718,642	△ 5,436,263

(単位：米ドル)

少なくとも
2024年末までの事業資金を確保

米国での金融不安を考慮し、長期性預金は1Q期間中に解約を実施

連結業績概要③／貸借対照表（要約）

	22／12月末	23／6月末	増減額
(単位：米ドル)			
負債の部			
流動負債			
買掛債務	424,646	548,221	123,575
未払債務・その他流動負債	2,605,308	2,071,738	△ 533,570
オペレーティング・リース負債	157,505	201,277	43,772
固定負債			
繰延税金負債	201,792	201,792	—
その他長期負債	523,619	519,685	△ 3,934
負債合計	3,912,870	3,542,713	△ 370,157
純資産の部			
普通株式 額面0.001米ドル	49,046	49,046	—
払込剰余金	477,438,451	478,167,424	728,973
その他包括損失累計額	△ 115,285	△ 121,040	△ 5,755
累積欠損	△ 407,130,177	△ 412,919,501	△ 5,789,324
純資本合計	70,242,035	65,175,929	△ 5,066,106
負債・純資産合計	74,154,905	68,718,642	△ 5,436,263

連結業績概要④ / キャッシュ・フロー (要約)

(単位：米ドル)

※カッコ内単位：千円 / 2023年7月31日時点の仲値1ドル=140.97円で換算

	FY22/2Q (①)	FY23/2Q (②)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 6,184,368 (△ 871,810)	△ 5,560,429 (△ 783,853)
投資活動による キャッシュ・フロー	0 (0)	39,910,438 (5,626,174)
財務活動による キャッシュ・フロー	7,920 (1,116)	0 (0)
現金増減額	△ 6,197,686 (△ 873,687)	34,370,778 (4,845,248)

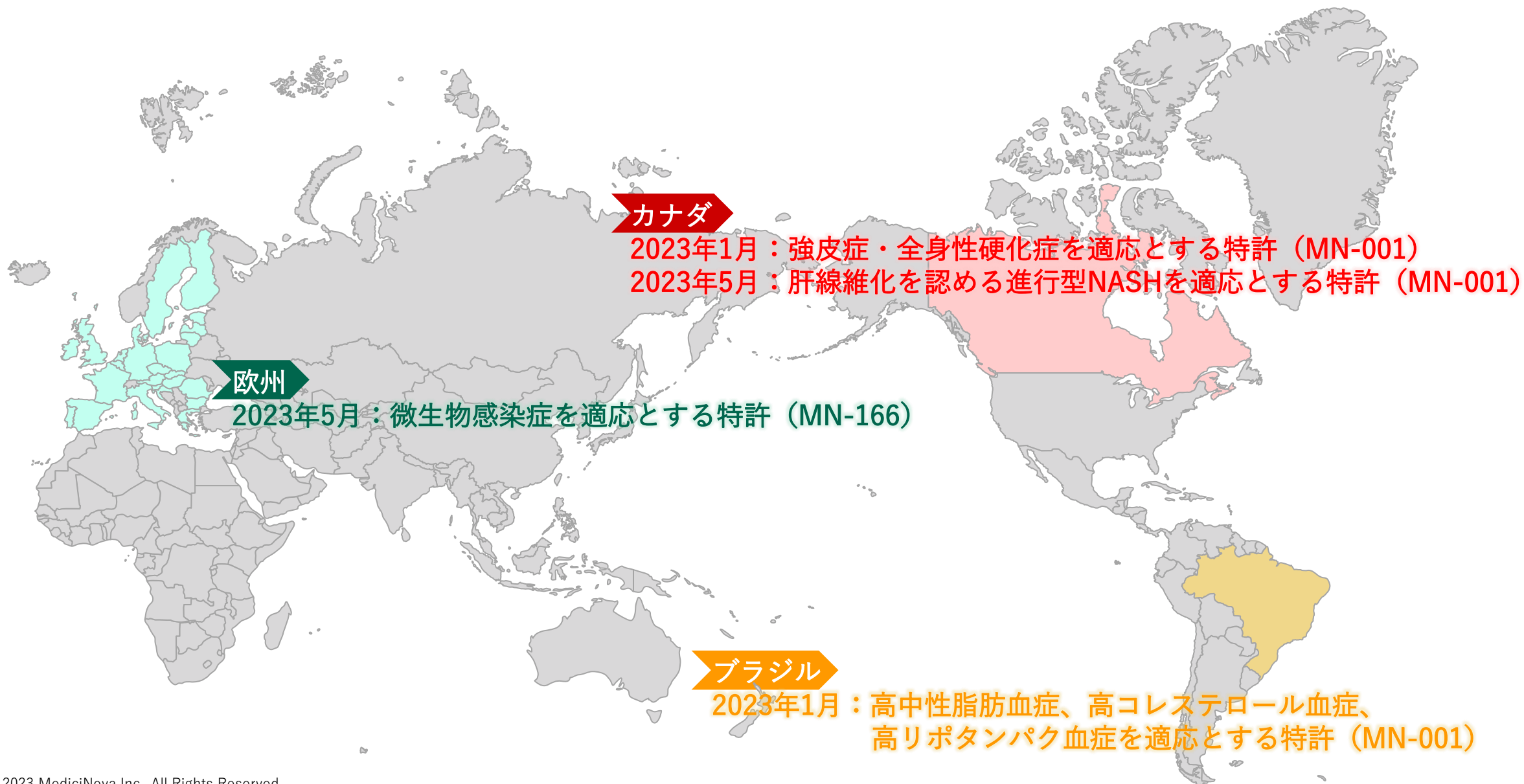
長期性預金を解約したことによるプラス

1 2023年12月期 第2四半期 連結業績概要

2 研究開発プロジェクト 進捗ハイライト&補足説明

3 Appendix

プログラム	FDA指定	開発ステージ				
		前臨床	Phase1	Phase2	Phase3	
MN-166 イブジラスト	新型コロナ感染後遺症 (Long-COVID)		▶	▶	▶	▶ Phase2/3 進行中
	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	ファストトラック オーファンドラッグ	▶	▶	▶	▶ Phase2b/3 進行中
	変性性頸椎脊椎症 (DCM)		▶	▶	▶	▶ Phase2/3 進行中
	化学療法誘発性末梢神経障害 (CIPN)		▶	▶	▶ Phase2b 進行中	
	グリオブラストーマ (神経膠芽腫)	オーファンドラッグ	▶	▶	▶ Phase2 進行中	
	覚醒剤依存症	ファストトラック	▶	▶	▶ Phase2 進行中	
	アルコール使用障害 (AUD)		▶	▶	▶ Phase2 進行中	
	塩素ガス曝露に起因する急性肺損傷		最終報告書提出完了 / 臨床治験実施予定なし			
MN-001 タイペルカスト	糖尿病性脂質異常症 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)	ファストトラック	▶	▶	▶ Phase2 進行中	



MN-166のアルコール使用障害（AUD）を対象とするフェーズ2b臨床治験の結果発表

当社とUCLA脳研究所の心理学部門及び精神医学・生物行動学部門の教授であるLara Ray（ララ・レイ）博士との共同研究で、米国国立衛生研究所（NIH）傘下の米国国立アルコール摂取障害・アルコール依存症研究所（National Institute of Alcohol Abuse and Alcoholism；NIAAA）から研究助成を受けて実施されたMN-166のアルコール使用障害（AUD）を対象とするフェーズ2b臨床治験の結果が発表されました。

本治験は、治療を希望する中等度又は重度のAUD患者を対象とした無作為、二重盲検、プラセボ対照というデザインで実施されました。合計102人の被験者が登録され、12週間の治療期間中にアルコールを多量摂取した日（男性でシングル5杯以上、女性で4杯以上）の割合を主要評価項目として、MN-166とプラセボで比較評価されました。

残念ながら、本治験では中等度又は重度のAUD患者に対するMN-166の有効性を示すエビデンスをは得ることはできませんでした。本治験はこれまでに実施してきた試験とは異なり、患者自身が治療意欲を有することからプラセボ効果の影響が大きかったことが観察されました。今後、更なる解析の実施や今後の開発方向性について、共同研究者と協議予定です。

【参考】

2023年6月29日公表

「第46回 アルコール依存症学会（RSA）学術集会におけるアルコール使用障害（AUD）を対象としたMN-166（イブジラスト）のフェーズ2b臨床治験の結果発表に関するお知らせ」

1 2023年12月期 第2四半期 連結業績概要

2 研究開発プロジェクト 進捗ハイライト&補足説明

3 Appendix

会社理念

十分な治療がまだ確立していない疾病を患う世界中の患者さんに、よりよい治療を提供することにより社会に貢献すること。

基本経営方針

理念を具現すべく、こうした疾病の問題を改善する医薬品の導入、開発、販売を手がけるグローバルな製薬企業を目指すこと。

本 社	4275 Executive Square, Suite 300, La Jolla, California 92037, USA
東 京 事 務 所	東京都港区西新橋1-11-5 新橋中央ビル5F
設 立 年 月 日	2000年9月26日
資 本 の 部	65,175,929米ドル（約91.9億円）※2023年6月末時点
上 場 市 場	東証スタンダード（2005年2月8日上場） 米国NASDAQ（2006年12月7日上場）
事 業 内 容	医薬品の開発

執行役員	役職	主な経歴
岩城 裕一	代表取締役社長兼CEO (最高経営責任者)	ピッツバーグ大学教授、南カリフォルニア大学教授 ジャフコ、日本政策投資銀行顧問
松田 和子	取締役兼CMO (最高医学責任者)	南カリフォルニア大学Keck メディカルスクール助教授 ロサンジェルス小児病院、ロマリダ大学小児病院
ジェフリー・オブライエン	副社長 管理部門担当	UBS, DLJ/クレディ・スイス・ファースト・ボストン、野村、 パンク・ズィーガルの株式アナリスト
デビッド・クリーン	CBO (最高業務責任者)	Allergan (現AbbVie) .シニアディレクター Objective Capital Partners. マネージング・ディレクター
ジェイソン・クルーガー	CFO (最高財務責任者)	Signature Analytics, Inc. 最高経営責任者 Deloitte & Touche

(独立) 取締役		
キャロリン・ビーバー	取締役、監査委員 (委員長)、 報酬委員 (委員長)、指名・統治委員	オルガノボホールディング.取締役、セクオコム.CFO ベックマンコールター.CAO
長尾 秀樹	取締役、指名・統治委員 (委員長)、 監査委員、報酬委員	佐川アドバンス・SGシステム.監査役、SGアセットマックス.社長 SGホールディングス.経営戦略部担当部長 日本政策投資銀行.新産業創造部長
ニコール・ルメロン	取締役、監査委員、報酬委員、 指名・統治委員	NVキャピタル.マネージング・パートナー InMed Pharmaceuticals, Inc. 取締役 GeoVax Labs, Inc. 取締役

MediciNova, Inc. (メディシノバ・インク)
東京事務所 I R 担当

URL : <https://medicinova.jp/>

E-mail : infojapan@medicinova.com

- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。
- 本資料に記載されている弊社以外の企業に関する情報は、公開されている情報などから引用しており、その情報の正確性などについて保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。